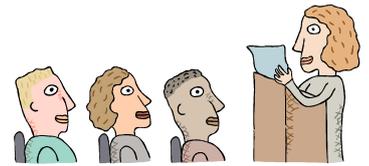




なごやコンベンション NEWS

2015年7月号



ロボカップ2017 誘致決定！

昨年3月より誘致活動を行っていた「ロボカップ2017 世界大会」の開催地が名古屋に決定しました。

「ロボカップ」とはロボットサッカーワールドカップの略で、「2050年までに、人型ロボットでサッカーのワールドカップ・チャンピオンに勝つ」ことを目標とした、知能を持った自律移動ロボットによる国際的なサッカー競技大会です。サッカー以外に、レスキュー、アットホームなどの競技部門やジュニア大会があり、世界40カ国から競技者3,000名が参加し、来場者数10万人以上が見込まれるイベントです。第1回の名古屋での開催（1997年）以来、世界各地で毎年開催され、2017年の名古屋での開催は20年ぶりの開催となります。

〔会場：名古屋市国際展示場(ポートメッセなごや)、テバオーシャンアリーナ〕
〔会期：2017年7月22日～28日〕

当地域はロボット生産額が全国一の25%のシェアがあり、この大会を契機に今後のAI（人工知能）のロボット関連産業の発展が期待されます。

【誘致活動の経緯】

- 平成26年3月 MICE セールス(大阪) で日本委員会事務局長訪問し、情報を入手。
- 3月～5月 ロボカップ日本委員会関係者との調整。
- 6月 日本委員会で国内開催地を名古屋にして立候補することを決定。
- 7月 市長が7月7日の定例記者会見で誘致表明。
- 7月 ブラジル大会で、野田五十樹氏(産業技術総合研究所) がフェデレーション会長に就任。合わせて名古屋開催誘致表明。
- 11月 スペインでの国際委員会理事会で浅田稔プレジデント(大阪大学教授) が理事に対して名古屋開催誘致の説明。
- 平成27年2月 プロポーザルをロボカップ・フェデレーションに提出。
- 7月 ロボカップ2015 世界大会において立候補都市プレゼンテーションに参加。ロボカップ国際委員会の理事による投票により、オーストラリア・シドニー市に打ち勝ち2017 世界大会の名古屋開催が決定。



誘致決定（2017年7月19日） 誘致代表団